



フロアトップ® #1000 速乾 遮熱色 & フロアトップ® #1000 速乾

アスファルト面用

速乾型

高い遮熱性能 (遮熱色)

景観の美化

1. 温度低減効果 (塗装面が11°C低下)
2. 速く開放できます
3. 目的別に色分けできます
4. 非危険物なので安心

落ち着いた
つや消し仕上げ



塗装色は #50 アイボリー

荷姿・塗り面積・標準色

【荷 姿】 16 kg : 石油缶

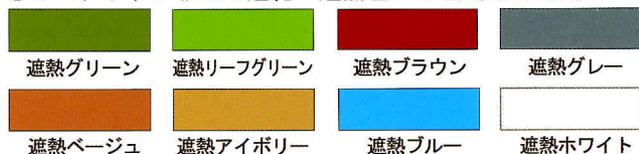
【塗り面積】

コーティング防滑工法 (2回塗り)	17 ~ 20 m ²
-------------------	------------------------

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

【標準色】

●フロアトップ #1000 速乾 遮熱色 8色 (受注生産)



※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。
※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。
フロアトップ#1000速乾の標準色の指定・選定・ご注文は
必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。



消防法：非危険物

●フロアトップ #1000 速乾 9色 (調色も承ります)

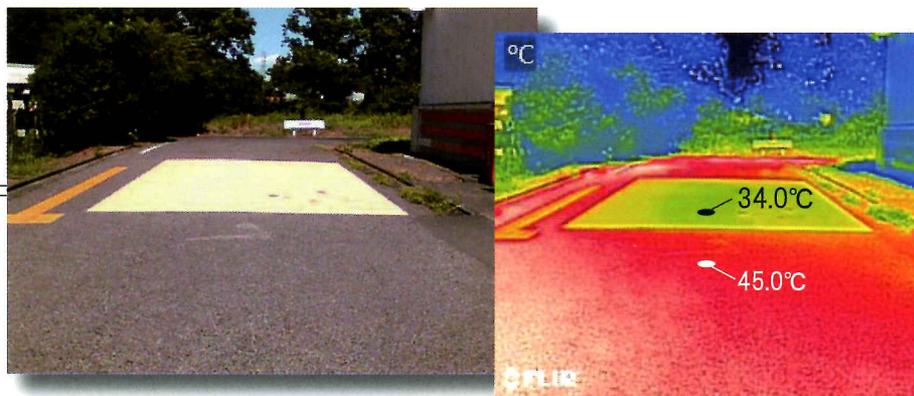


フロアトップ® #1000速乾 遮熱色 & #1000速乾

特 長

1 夏の熱中症対策に役立ちます(遮熱色)。

優れた温度低減効果で、太陽熱によるアスファルト面の温度上昇を抑えます。



- 未塗装部分の温度：45.0°C
- 遮熱アイボリー塗装部分：34.0°C

最大温度差 11°C

※当社工場通路に遮熱アイボリーを塗装してサーモグラフィで温度測定(気温 35°C)。

幼い子供が一番暑い！



▶同時に計測したベビーカー内の温度も最大 4.6°Cもの温度差！(未塗装路面上 45.3°C、遮熱アイボリー塗装面上 40.7°C。路面より60cmの高さで計測)。大人より路面に近い幼い子どもを暑さから守ります！！

2 速乾性なので工期の取れない場所に最適です。

水性塗料ながら乾燥時間が短く、とくに低温時では一般的な水性床用塗料と比べ1/2以下の時間で乾燥します。※詳しくは裏表紙の乾燥性試験をご参照ください。

3 アスファルトを目的別に色分けできます。

遊歩道や通学路、テニスコート、駐輪場、駐車場等をカラーリングすることで、分かりやすく区分することができます。

4 非危険物なので安全で臭いもわずかです。

水性一液・非危険物塗料なので安全で、塗装も珪砂を加えるだけの簡単施工です。

5 透水性・排水性機能を損なわない仕上げが可能です。

透水性・排水性アスコンに対してもスプレー施工することで、舗装の機能を損なわない仕上げが可能です。

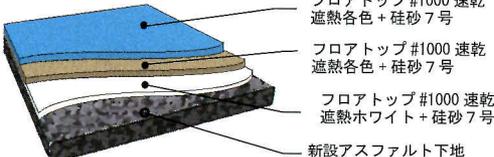
用 途

展示場、構内安全通路、駐車場、駐輪場、アミューズメント施設の歩道、プールサイド、遊歩道、テニスコート、通学路、自転車道、コミュニティ道路等のアスファルト面

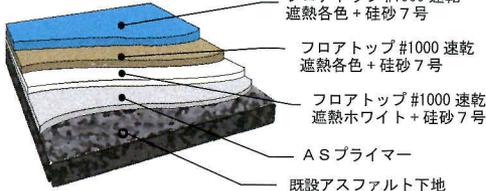
施工仕様例

【フロアトップ #1000 速乾 遮熱色】

①コーティング防滑工法

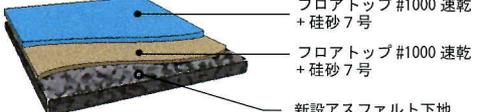
工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	コーティング防滑工法 (AWQ遮熱-03) 
1 上塗り①	フロアトップ#1000速乾 遮熱ホワイト 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.60 0.18 ※1	1 以上	
2 上塗り②	フロアトップ#1000速乾 遮熱各色 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09 ※1	1 以上	
3 上塗り③	フロアトップ#1000速乾 遮熱各色 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09 ※1	—	

②既設アスファルト面工法

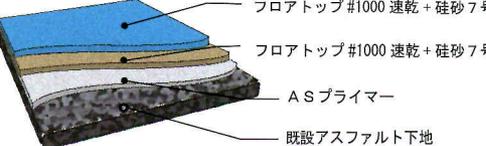
工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	既設アスファルト面工法 (AWQ遮熱-04) 
1 下塗り	ASプライマー	—	—	0.10	1 以上	
2 上塗り①	フロアトップ#1000速乾 遮熱ホワイト 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.60 0.18 ※1	1 以上	
3 上塗り②	フロアトップ#1000速乾 遮熱各色 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09 ※1	1 以上	
4 上塗り③	フロアトップ#1000速乾 遮熱各色 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09 ※1	—	—

【フロアトップ #1000 速乾】

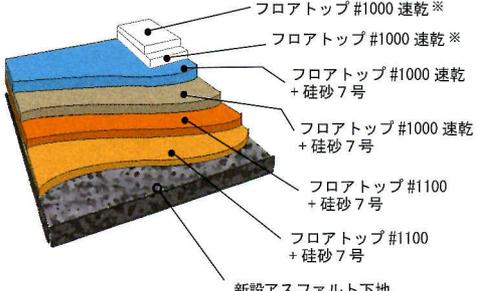
①コーティング防滑工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	コーティング防滑工法 (AWQ-03) 
1 上塗り①	フロアトップ#1000速乾 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.60 0.18 ※1	1 以上	
2 上塗り②	フロアトップ#1000速乾 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09 ※1	—	—

②既設アスファルト面工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	既設アスファルト面工法 (AWQ-04) 
1 下塗り	ASプライマー	—	—	0.10	1 以上	
2 上塗り①	フロアトップ#1000速乾 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.60 0.18 ※1	1 以上	
3 上塗り②	フロアトップ#1000速乾 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09 ※1	—	—

③テニスコート仕様

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	テニスコート仕様 (AWQ-11) 
1 下塗り①	フロアトップ#1100 珪砂7号 80%混入	—	—	0.44 0.36	24 以上	
2 下塗り②	フロアトップ#1100 珪砂7号 80%混入	—	—	0.33 0.27	4 以上	
3 上塗り①	フロアトップ#1000速乾 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09	1 以上	
4 上塗り②	フロアトップ#1000速乾 珪砂7号 30%混入	水	0 ~ 5	0.30 0.09	1 以上	
5 ライン引き	フロアトップ#1000速乾 ※	—	—	0.15	1 以上	
6 ライン引き	フロアトップ#1000速乾 ※	—	—	0.15	—	—

※ライン引きは、フロアトップ #1000 速乾 遮熱ホワイトをご使用ください。

注) 塗装間隔は塗装環境により異なるため、乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。

※1 駐車場等の車両が長時間停車する箇所への塗装では、珪砂混入量を50%としてください。

・下地がコンクリートの場合には、#800プライマーを使用してください。

・下地の状況により塗布量は変化します。上記の塗料、珪砂はロスを含んでいません。

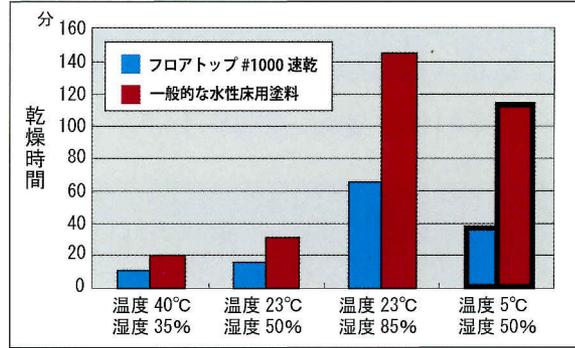
・透水性舗装面への塗装仕様は別途お問い合わせください。

注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

乾燥性試験

ガラス板(70×150mm)に、フロアトップ#1000速乾0.60kg/㎡+珪砂7号0.18kg/㎡の塗布量で、一般的な水性床用塗料との乾燥時間を、温度・湿度を変え測定しました。

その結果、試験したすべての条件で乾燥が早く、とくに5℃の低温時でも1/2以下の時間で乾燥することを確認しました。乾燥に時間がかかり施工が難しかった冬期においても施工が可能になります。



※実際の施工では施工仕様、下地表面温度などによっても乾燥時間は大きく変化します。必ず塗膜の内部まで乾燥し、塗膜に力をかけても動かないことを確認してから開放してください。

※乾燥時間と一般開放時間とは異なりますのでご注意ください。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- ①5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- ②降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- ③下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよく読みの上、十分に注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- ①下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- ②ASプライマーは必ずエアレススプレー等で薄く塗装してください。ローラーだけで塗布量以上に厚く塗装すると発泡場合があります。
- ③プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料のと付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装するようお願いいたします。
- ④塗装中は換気をよくしてください。
- ⑤1回での厚塗りは避けてください。
- ⑥常に水のかかる場所への塗装は避けてください。

3. 塗装(施工)後の注意

- ①湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- ②塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
- ③直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してください。

4. 塗装面別の注意

- ①新設の場合、コンクリートは4週間、アスファルトで2週間以上の養生期間をとってから塗装してください。

全般的注意事項

- ①製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- ②塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- ③改良等のため、製品の中身、販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- ④当販促物に表示してある、使用量はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- ⑤製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。また、使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ず使用前に当社にお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡 3-9-6 TEL. (03) 3969-3125 (直通) FAX. (03) 3968-7300

■本社	〒174-8574 東京都板橋区舟渡 3-9-6	TEL (03) 3969-3111	FAX (03) 3968-7300
■加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎 1-12-1 (加須工業団地内)	TEL (0480) 65-1154	FAX (0480) 65-8909
■大阪支店	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町 2-22	TEL (072) 872-3111	FAX (072) 872-1222
■仙台営業所	〒982-0011 仙台市太白区長町 6-8-7 (ハイコートアイ1F)	TEL (022) 249-7371	FAX (022) 249-7372
■新潟営業所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南 2-19-14 (和合ビル)	TEL (025) 244-8011	FAX (025) 244-8012
■横浜営業所	〒224-0033 横浜市中区茅ヶ崎東 3-17-43	TEL (045) 943-8911	FAX (045) 943-8912
■名古屋営業所	〒462-0043 名古屋市中区八代町 1-9 (北村ビル2F)	TEL (052) 914-3900	FAX (052) 916-0892
■広島営業所	〒739-1734 広島市安佐北区口田 1-8-17 (小夫妻ビル)	TEL (082) 845-2202	FAX (082) 845-2203
■福岡営業所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈 1-33-31	TEL (092) 503-5200	FAX (092) 503-5308
■加須工場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎 1-12-1 (加須工業団地内)	TEL (0480) 65-1159	FAX (0480) 65-7146

<https://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ1000速乾

